

第6回アカデミア向けレジストリ勉強会

(2024/11/5開催)

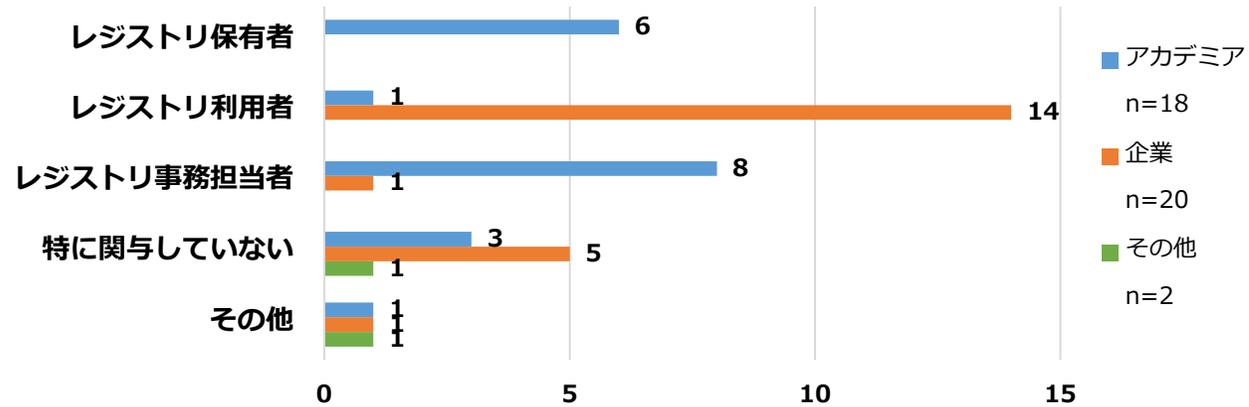
－アンケート集計結果－

【参加者内訳】

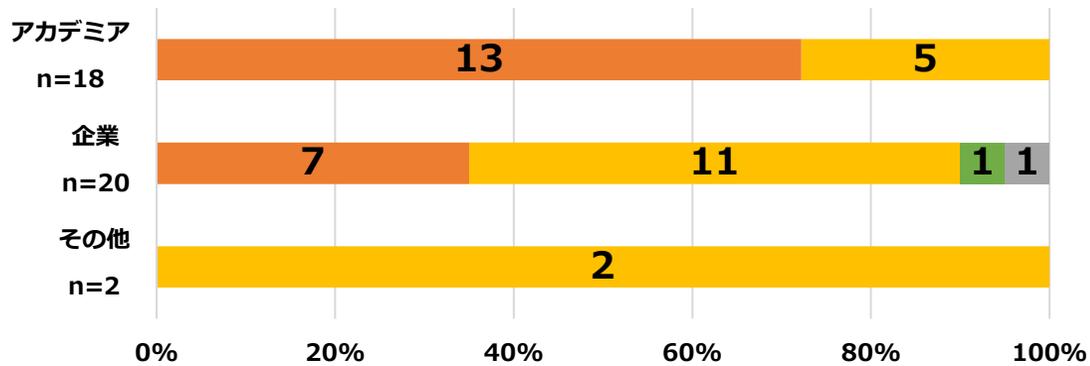
- ・参加申込者数：182名（アカデミア 51 名・企業等 103 名・その他 15名）
- ・当日視聴者数：115名（アカデミア 43 名・企業等 60 名・その他 12名）
- ・アンケート回答数：40名（アカデミア 18 名・企業等 20 名・その他 2名）
- ・アンケート回答率：34.8%（40/115）

【アンケート集計結果概要】

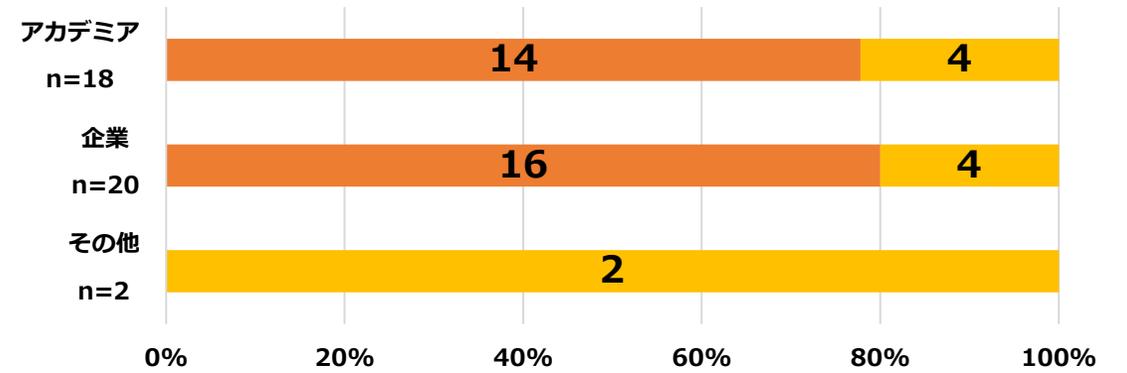
＜レジストリとの関わり＞



＜全体の満足度＞



＜次回も参加したいか＞



■ 非常に良かった ■ よかった ■ どちらともいえない
■ 良くなかった ■ 視聴していない

■ ぜひ参加したいと思う ■ どちらかといえば参加したいと思う
■ どちらかといえば参加したいと思わない ■ 参加したいとは思わない

【参加者からのコメント1（一部抜粋）】

◆ 参考になったところ等

アカデミア	レジストリをやっている学会等が増えてきていますが、悉皆性や信頼性の観点の研究支援者や倫理審査委員会には見えにくいように思っているため、参考になります。
	当学会と同じデータベース事業を運営する学会の実態と課題が分かってとても参考になりました
	J-ABへの登録をしている医療機関なので、どのようにデータを使用しているか理解でき、よかった
	具体的な事例をご紹介下さり、参考になりました。
	CROの協力無く、学会事務局だけでレジストリの運営をされていることにとても驚きました。GPSP省令や派生する手順書などについては、慣れていないと文書を読み込むことも大変です。担当の先生方のご尽力によることも大きいことと存じますが、J-ABホームページを拝見しますと非常に整理されており、悉皆性が高い理由が分かったように思いました。
企業	新製品の市販後調査や成績調査等で学会レジストリの活用等検討する必要があったこともあり、非常に知りたい内容に近いものでした。
	実際に製造販売後調査においてどのような課題が発生し、どのように考えて対応されたのか、非常に参考になりました。
	PMSでデータ活用することにあたっての患者同意取得について、実際の運用をお伺いできて大変参考になりました。
	企業が活用を前提した場合に、事前に取り組むべき点、アカデミアとの課題や協議が必要となる点などが見え、有用な情報でした
	学会等のデータベースを利用したいと考える企業は多く、その理由の大半は個別に立ち上げるよりもコスト削減に繋がると考えられるからだとして理解している。その意味ではJ-ABのスキームや新機序のPulsed Field AblationによるPMSの利用や産官学の連携を勉強することができことはよかった一方で、目的の1つであるコスト面や対比となるデータの質（一般的にベースラインデータの収集に比べてフォローアップデータの収集が悪くなる）をどのように担保しているのか、対象施設のSDVは実施しているのか、再調査依頼はどのようにしているのか？などもう少し運用の中身の話を聞きたかった
	レジストリ活用相談において、保有者側で実際に対応されたことをご説明いただき勉強になりました。
行政	行政の立場から聴講させていただきました。レジストリの利用について、レジストリ保有者側、企業側双方の利点や課題が分かり大変興味深かったです。